

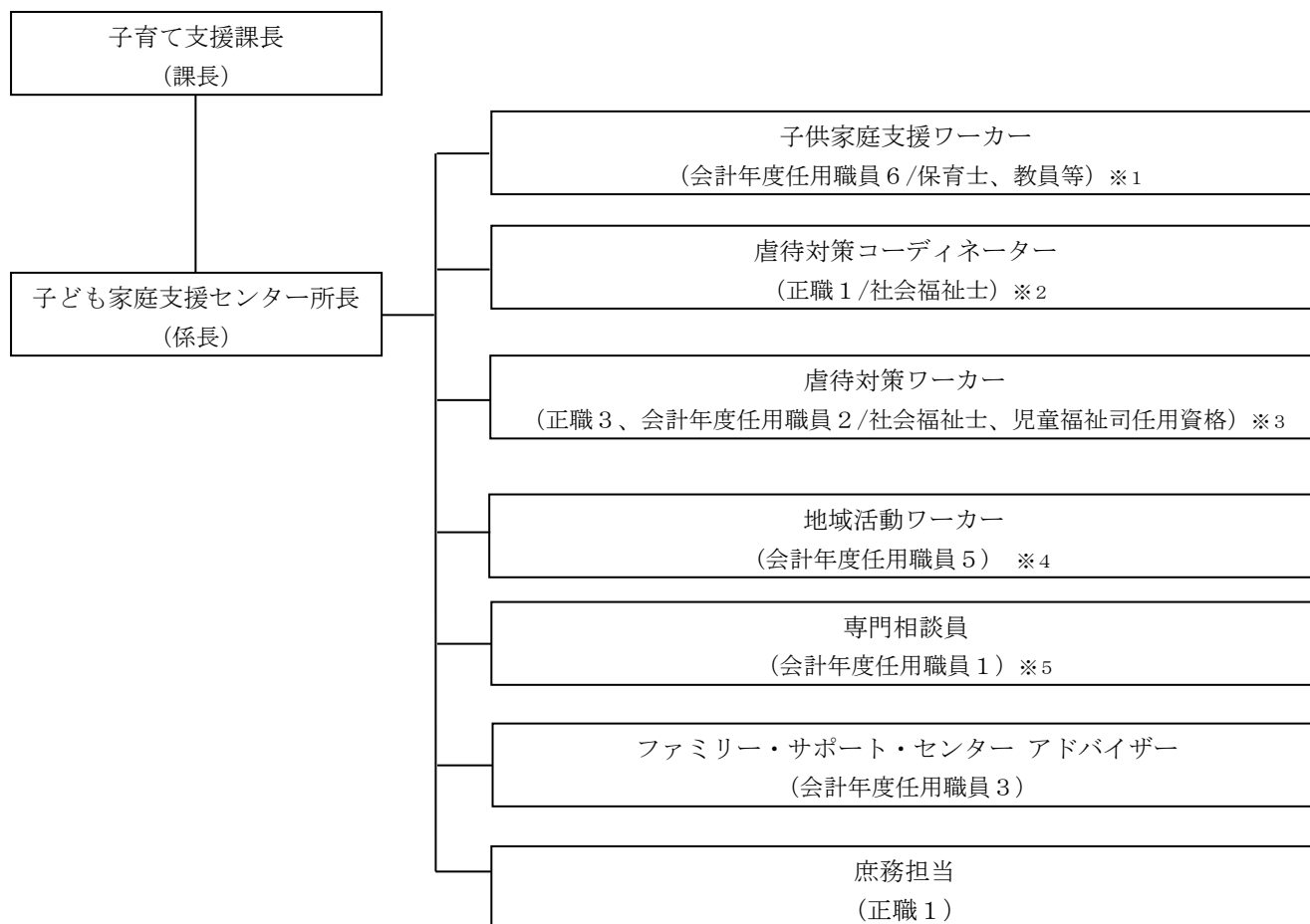
国立市子ども家庭支援センター 事業実績

国 立 市
子ども家庭支援センター

1. 国立市の概況（令和5年4月1日現在）

面積	8,15 [＊] 平方メートル	保育所等	24か所	民生委員・児童委員	43名
世帯数	39,258世帯	幼稚園	8園	主任児童委員	4名
人口	76,182人	公立小学校	8校		
児童数	10,352人	公立中学校	3校		

2. 人員体制



(令和5年4月1日現在)

※1 子供家庭支援ワーカーは、総合相談や子供家庭在宅サービスや養育支援訪問事業の提供・調整、養育家庭制度に関する情報提供及び児童相談所等との連携等を行う。6名のうち4名は、社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団の職員として、くにたち未来共創拠点矢川プラス内「ここすきひろば」に従事。

※2 虐待対策コーディネーターは、子供家庭支援センター内の調整及び関係機関との連携等を行う。

※3 虐待対策ワーカーは、虐待相談や虐待が認められる家庭等への支援、児童相談所、保健所、保健センターなど他機関等との連携及び調整等を行う。正職3名のうち1名は休職中。

※4 地域活動ワーカーは、地域組織化事業を担当する。5名のうち2名は、※3の虐待対策ワーカーが兼務し、3名は※1の「ここすきひろば」職員の子供家庭支援ワーカーが兼務。

※5 専門相談員は、保健、医療、法律、教育等の専門分野に係る利用者からの相談に応じる。※1の「ここすきひろば」職員の子供家庭支援ワーカーが兼務。

3. 事業内容

(1) 総合相談事業

18歳未満のお子さんとその家庭に関するあらゆる相談をお受けします。お子さんご自身からの相談にも対応します。身近な子育ての悩みから虐待などの深刻なケースまで総合的に対応します。

(2) 子育てひろば事業

子育て中のご家庭が気軽に集える場所を提供し、子育て中の親子が相互交流をしたりスタッフに気軽に相談をすることができます。また、さまざまな講座の開催や、情報誌の発行をしています。

【実施場所：くにたち未来共創拠点矢川プラス内「ここすきひろば」】

(3) 子育て講座及び子育てグループ育成・支援事業

地域における子育てサークル、同月齢児のグループ等の活動支援やボランティアの育成を行っています。また、子どもの年齢別や地域向けの講座を開催しています。

【実施場所：くにたち未来共創拠点矢川プラス内「ここすきひろば」】

(4) 子どもショートステイ事業

保護者が病気や出産、家族の介護、育児疲れ、冠婚葬祭等の理由で、一時的に子どもを養育することが困難になったとき、市内の施設で宿泊または日帰りにより、お子さんを預かります。

【委託先：（公財）生長の家社会事業団 施設名：ショートステイホーム「おひさま」】

(5) 一時保育支援事業

保護者の短時間の就労や病気、リフレッシュなどで一時的にお子さんに保育が必要なときに、保育園でお預かりします。

【実施場所：国立あゆみ保育園、国立保育園】

(6) 育児支援サポーター派遣事業

産前産後のご家庭等にサポーターを派遣して、育児や家事をお手伝いします。

(7) ファミリー・サポート・センター事業

地域の子育ての助け合いを行う会員制の事業です。子育てのお手伝いをしてほしい方に支援（サポート）したい方を紹介し、お子さんの保育施設等への送迎や一時預かりを行います。

(8) 子ども家庭支援ネットワーク連絡会（要保護児童対策地域協議会）

虐待の防止や通告などに対応します。また、子どもと家庭を総合的に支援するために、関係機関とネットワークを作り対応しています。

(9) 養育家庭制度の普及・啓発事業

養育家庭の拡充のため、都と協力して養育家庭体験発表会を開催するなど養育家庭制度の普及・啓発活動を行っています。

(10) 子ども家庭支援センター運営協議会

センターの運営その他必要な事項を協議するため、市民・民間団体及び関係行政機関等を構成者とした運営協議会を設置しています。本協議会では、センターの基本的な活動内容及び運営方法について協議します。

(11) 地域子育て支援拠点事業

子育て中の家庭が、気軽に集い交流や育児相談・情報提供を受けられる場を設置します。

【委託先：NPO法人くにたち農園の会 事業名：つちのこひろば】

(12) その他

4. 国立市子ども家庭支援センターの沿革

平成15年 8月	子ども家庭支援センター事業開始
11月	子ども家庭支援センター運営協議会第1回会議開催
12月	産後支援サポーター派遣事業開始 (平成20年6月育児支援サポーター派遣事業に名称変更)
平成16年11月	ファミリー・サポート・センター事業開始
平成20年 2月	子ども家庭支援ネットワーク連絡会(要保護児童対策地域協議会) 第1回代表者会議開催
6月	「従来型子ども家庭支援センター」から「先駆型子ども家庭支援センター」 へ移行
平成23年10月	子どもショートステイ事業開始
平成24年 4月	虐待対策コーディネーターを配置
平成28年 4月	虐待対策ワーカー1名増員
平成28年 9月	子どもショートステイ日帰り型導入
令和 5年 4月	子育てひろばはくにたち未来共創拠点矢川プラスへ、子育てひろば以外 は市役所本庁舎に機能移転

5. 令和4年度事業実績

(1) 総合相談事業

<相談受理件数>

(件)

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
養護相談	461	456	453	369	373
保健相談	1	1	0	0	0
障害相談	8	11	0	5	8
非行相談	3	4	2	1	0
育成相談	171	129	148	41	35
その他相談	3	1	4	4	0
問合せ等	118	230	302	298	249
合計	765	832	909	718	665

(2) 子育てひろば事業

<子育てひろば利用者数>

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開所日数(日)	292	290	235	293	288
利用延人数(人)	9,787	9,975	4,656	4,367	5,247
(内父親利用延人数)	350	338	180	166	211

利用は午前または午後のどちらか2時間まで、各回定員入れ替え制(事前予約制)。

定員は、新型コロナウイルス感染症の状況により、次のとおり設定。

4月1日～ 7月19日 各回8組 7月20日～9月 7日 各回 5組

9月8日～10月31日 各回8組 11月1日～3月31日 各回10組

<ひろば主催事業>

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
回数(回)	1	1	1	1	1
参加人数(人)	190	55(悪天候)	138	72	62

「子育てひろば お楽しみDAY」

<開催方法> 各回定員10組の事前予約制、1家族1回限りの参加

<日時> 令和4年12月7日(水)～12月9日(金)

12月7・8日:午後2時00分～2時30分 12月9日:午前10時30分～11時00分

<出演・内容> 7日:カンタービレ(世界の言葉を使った歌や音遊び)

8日:ヤクルト(パネルシアター、歌遊び等)

9日:スマイルホーンズ(楽器を使った親子で楽しめる演奏、音遊び)

<ヤクルト共同事業「ヤクルトミニお楽しみ会」>

乳幼児とその保護者を対象に、手遊びや読み聞かせなどの親子で楽しめるミニイベントを開催。

①子育てひろばでの開催(月1回開催)

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数(人)	10	10	10	8	0	14	16	10	24	7	中止	16	125

※2月は悪天候のため中止。

②出前講座での開催

地域グループ活性化を目的として5回開催し、34組68人が参加。

<抱っこひもミニ講座>

理学療法士に、簡単な講話と実際の抱っこひもの装着状況の確認をしていただき、より安全で身体に負担のない装着方法を学ぶ講座を開催。

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数(人)	12	11	10	12	15	12	12	10	8	10	12	8	132

※1回3組の定員制で1日2回開催。

<国立市消防団女性団員による子どものための安全ミニ講座>

国立市消防団の女性団員を講師に、防災や安全に関する知識を子育て世代の保護者に伝えるミニ講座を開催。

令和4年度は、「救急車の呼び方やAEDの使い方」をテーマに開催。

開催月	6月	9月	10月	1月	合計
参加人数(人)	9	4	14	8	35
女性団員(人)	3	3	3	3	12

<栄養士ミニ講座>

子ども保健・発達支援係の管理栄養士を講師に、離乳食や食事について学び、質問できるミニ講座を開催。

開催月	6月	8月	10月	12月	2月	合計
対象	離乳食後期 (生後7か月過ぎの 子どもの保護者)	完了期 (生後11か月過ぎの 子どもの保護者)	離乳食後期 (生後7か月過ぎの 子どもの保護者)	完了期 (生後11か月過ぎの 子どもの保護者)	離乳食後期 (生後7か月過ぎの 子どもの保護者)	
テーマ	パクパク3回食	モリモリ幼児食	パクパク3回食	モリモリ幼児食	パクパク3回食	
参加人数	10	10	14	14	16	

<助産師相談>

気軽に集える子育てひろばで助産師から専門的な助言を受け、保護者が子どもの状況を見極め、親として成長していく力をつかむことができるよう支援する助産師相談を月に1回実施。

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数(人)	5	5	3	4	4	3	4	5	2	4	8	0	47

※このほか、来所が難しい家庭に助産師が訪問し相談対応を行う訪問相談を1回実施。

<ひろばミニ説明会>

ひろばを初めて利用する人を対象に、ひろば利用や地域の子育て情報などを案内。

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数(回)	2	1	1	0	0	1	0	2	2	1	0	0	10
参加組数(組)	4	1	1	0	0	2	0	2	3	1	0	0	14

<子育て情報提供事業>

①主な子育て情報誌

『ぽかぽか』(毎月) 年間8,400部発行

『一人でもがんばらないで』 年間1,500部発行

『市内・市外一時保育サービスの紹介』 年間1,500部発行

『園庭開放』(前期・後期) 年間1,500部発行

②インターネットの活用

国立市ホームページ、子育てアプリ等に情報を掲載し市民へ周知。

(3) 子育て講座及び子育てグループ育成・支援事業

<子育て講座・子育て講演会の開催>

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開催回数(回)	15	9	11	10	11
参加者数(人) ※保育人数含む	406	211	236	166	198

①子育て講座・子育て講演会

開催月	講座名	対象	参加人数(人)
7月	産後ママの身体のケア講座	出産後2か月～6か月の母親とその子ども	20
8月	親子であそぼう!! ～ママと一緒に1・2・3～	2歳～3歳の子どもとその保護者	18
9月	気持ちを軽くする、子育てのヒント	生後2か月～7か月の子どもとその保護者	12
11月	産後ママの身体のケア講座	出産後2か月～6か月の母親とその子ども	17
12月	子育てのヒント～パパママのための アンガーマネジメント講座	0歳～18歳までの児童を持つ保護者又は子どもに関わる関係者	8
2月	気持ちを軽くする、子育てのヒント	生後2か月～7か月の子どもとその保護者	14
合計			89

②保育付講座

(人)

開催月	講座名	対象	参加人数	保育人数
5月	イヤイヤとどう付き合う?子どもとの関係を育てるコミュニケーション	1歳～2歳の子どもを持つ保護者	9	9
10月	子どものほめ方・しかり方を学ぶ	1歳～2歳の子どもを持つ保護者	11	10
11月 ～12月	「CARE(ケア)に学ぶ～子どもとのよりよい関係を築くために～」 【連続3回講座】	子育て中の大人又は子どもと接する機会のある大人(2歳以上で言葉でのコミュニケーションが可能な子どもと関わり、3回全てに参加できる方)	26	15
合計			46	34

③パパ講座

開催月	講座名	対象	参加人数 (人)
10月	パパと一緒にあそぼう！！	2歳～3歳の子どもとその父親	14
2月	家族を守る防災講座	0歳～3歳の子どもとその父親 (家族)	13
合計			27

<子育てグループの育成・支援>

①地域での子育てひろば開催

開催月	開催名称	開催場所	対象	参加人数 (人)
4月	出張子育てひろば	北福祉館	未就園児の親子	10

②ふたご交流会

多胎児の親子・妊婦に参加を呼びかけ、交流を支援。

開催月	7月	10月	2月	合計
参加人数 (人)	6	中止	10	16

③月齢グループ

生後5か月～6か月の子どもと保護者を対象に、月齢毎のグループ作りと活動を支援。

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数 (回)	2	2	1	2	2	1	2	2	2	2	2	1	21
参加組数 (組)	13	7	5	9	11	6	9	8	9	12	9	4	102

※6月、9月、3月は申込少数のため、1回のみの開催。

④地域グループ

市内各地域で自主的に活動している地域グループに対し、延べ14回支援。

<子育てボランティア育成と交流>

子育て中のママをサポートする先輩ママ「ピアママ」の活動を支援。

①ピアママ登録者 13人

②活動記録

活動日	場所	内容	参加人数 (人)
6月20日	子ども家庭支援センター	顔合わせ及び令和4年度の企画について	5
7月11日		企画の内容に関する打ち合わせ	4
11月2日		企画の詳細な打ち合わせ及び準備	4

③ピアママ企画

開催日	場所	内容	ピアママ人数	参加組数
11月14日	子ども家庭支援センター	理学療法士による体力測定及びピアママとの交流	6人	10組

(4) 子どもショートステイ事業

(委託先：(公財)生長の家社会事業団 施設名：ショートステイホーム「おひさま」)

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用	宿泊 (人)	98	146	147	145	169
延人数	日帰り (人)	317	197	386	158	27

(5) 一時保育事業（実施園：国立あゆみ保育園、国立保育園）

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一日利用延人数（人）	2,591	2,191	1,712	2,039	1,570
半日利用延人数（人）	879	632	382	464	468
合計	3,470	2,823	2,094	2,503	2,038

※令和4年4月から、国立ひまわり保育園から国立保育園に事業移行。

(6) 育児支援サポーター派遣事業

<サポーター登録者数、依頼者数および活動回数>

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
サポーター登録数（人）	107	113	105	116	129
派遣申請者数（人）	65	69(4)	60(4)	62(5)	80(7)
活動回数（回）	245(0)	416(179)	145(32)	336(169)	377(145)

※（ ）内は要支援家庭

<育児支援サポーター研修会>

開催月	日数（日）	参加人数（人）	内容
7月	4	11	産前産後の母との関わり、栄養と食生活、助産師による 講話、沐浴実習、サポーター体験報告 等
11月・12月	4	8	

※令和4年度からファミリー・サポート・センター支援会員研修会と合同開催。

<育児支援サポーターフォローアップ講習会>

開催日：令和5年1月19日（木）

内 容：「より良いサポートに向けて～保護者への関わり方・程よい距離の取り方～」

受講者：9人

(7) ファミリー・サポート・センター事業

<会員数および活動状況>

会員数	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	支援会員（人）	186	190	195	203	209
利用会員（人）	997	1,057	1,076	1,149	1,121	
両方会員（人）	16	16	18	19	20	
活動	活動件数（件）	2,640	2,467	1,483	1,684	2,378
	延べ時間（時間）	3,886	3,650	2,190	2,484	3,216

※令和2年4月より、利用児童の対象年齢を「10歳まで」から「12歳まで」に引き上げ。

<ファミリー・サポート・センター支援会員研修会>

開催月	日数（日）	参加人数（人）	内容
7月	4	11	乳児期から学童期までの保育、預かるときの配慮、子ども の発達と遊び、応急救護、会員体験報告 等
11月・12月	4	8	

※令和4年度から育児支援サポーター講習会と合同開催。

<ファミリー・サポート・センター支援会員・利用会員交流会>

開催日：令和4年5月27日（金）

内 容：「はじめてのバレトンレッスン～ボディメイクエクササイズ」

参加者：8人

<ファミリー・サポート・センター広報活動>

令和4年5月及び9月に会員情報誌「うめちゃんだより」を発行し、ファミリー・サポート・センター事業の活動状況や予定について会員に周知。

(8) 子ども家庭支援ネットワーク連絡会（要保護児童対策地域協議会）

<児童虐待対応状況>

(件)

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
虐待対応件数	224	172	189	269	284	
新規	166(24)	101(9)	114(7)	177(21)	171(23)	
前年度から継続	58	71	75	92	113	
種別	身体的	66	53	53	75	81
	心理的	131	101	111	158	170
	性的	1	1	2	1	0
	ネグレクト	26	17	23	35	33
	その他	0	0	0	0	0
年齢別	未就学児	98	80	75	116	125
	小学生	80	68	81	108	112
	中学生	29	19	21	32	27
	高校生	17	5	10	10	19
	不明	0	0	2	3	1

※（）内は非該当件数。

<国立市子ども家庭支援ネットワーク連絡会会議>

- ①代表者会議 年1回開催（令和4年5月16日）
- ②実務者会議 年3回開催（令和4年5月30日・9月30日・令和5年1月26日）
- ③点検作業会 年3回開催（令和4年5月12日・9月22日・令和5年1月19日）
- ④個別ケース会議 22回実施

<児童虐待等の早期発見及び支援のための市内公立小中学校・認可保育園他との連絡会等>

- ①公立小中学校 11校 計19回実施
- ②認可保育所・幼稚園等 計22回実施

<新規採用教員向け研修>

国立市教育委員会主催の初任者研修において、「子ども家庭支援センターの役割と連携について」をテーマに実施。

<認可保育所保育士・幼稚園教諭向け研修>

早期の段階からの児童虐待防止の視点を養うため、保育所保育士と幼稚園教諭向けの研修会
 実施日：令和5年3月13日（月）
 テーマ：「子どもたちを守るために私たちができること～虐待？に気付いたときの対応について～」
 場 所：くにたち市民芸術小ホール地下音楽練習室
 講 師：青木 幸子（社会福祉法人子どもの虐待防止センター 相談員）
 参加者：18人

<国立市子ども家庭支援ネットワーク連絡会主催講演会>

開催日：令和4年11月26日（土）
 テーマ：「ヤングケアラー～親の情緒的ケアを担う子ども達」
 場 所：国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ
 講 師：坂本 拓（精神疾患の親をもつ子どもの会「こどもぴあ」代表）
 寺田 悦子（株式会社円グループ 代表取締役）
 参加者：20人（来場）、10人（録画視聴）

<国立市子ども家庭支援ネットワーク研修>

要対協の連携体制の強化と児童虐待の早期発見や早期対応、対応能力の向上を図ることを目的とした庁内外の職員対象の研修会。令和4年度は「家族相談の基本～理論と実践」をテーマに実施。

	実施日	内容	講師	参加人数(人)
第1回	令和4年 8月4日	家族療法的視点の紹介、家族システムに関する基礎概念	北島 歩美氏 (日本女子大学カウンセリングセンター専任研究員)	9
第2回	令和4年 8月18日	家族の見立て・アセスメント		15
第3回	令和4年 9月1日	家族への介入方法・家族支援の技術		14
合計				38

<ママのリラックスタイム「ママリラ」>

子どもにイライラしたり、母自身や家族に困難さを抱え、子育てに悩む母親を支援するためのグループ、MCG (Mother and child Group) を実施。

講師：広岡 智子 (子どもの虐待防止センター相談員)

実施月	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
参加人数(人)	2	1	1	2	2	2	10

<四者協(国立市児童委員・児童相談所・学校・子ども家庭支援センター)主催による地区連絡協議会>

実施日：令和4年10月7日(金)

テーマ：8050問題

<乳幼児健診未受診者、未就園児、不就学児等の緊急把握の実施>

厚生労働省が全都道府県に依頼している乳幼児健診未受診者、未就園児、不就学児等の状況把握の調査。本市においても毎年調査し、他部署から情報提供等を受けて、小学校修了前の全児童の所在が確認されている。

<児童虐待防止推進月間(11月)の取組>

啓発活動の一環として、令和4年度は下記の取組を実施。

- ①Wリボン(児童虐待防止のオレンジリボンと女性に対する暴力をなくす運動のパープルリボン)に関するパネル展示を、旧国立駅舎と本庁ロビー、また市民まつりで実施。旧駅舎ではメッセージを募集。
- ②旧国立駅舎を2つの運動を象徴する色であるオレンジ色と紫色に、日替わりでライトアップ。
- ③市報くにたち(令和4年11月5日号)に児童虐待とDV防止に関する記事を掲載。

<児童虐待防止印刷物の作成>

- ①児童虐待防止の普及啓発を目的としたチラシを発行し、市報くにたち(令和5年3月5日号)に併せて市内全戸配布。
- ②児童虐待防止の周知や連携のため、市内のコンビニエンスストアにチラシを配布。

(9) 養育家庭制度の普及・啓発事業

立川児童相談所との共催で実施している、養育家庭制度(ほっとファミリー)の普及・啓発と新規養育家庭の開拓を行うための事業。社会的養護の担い手としての養育家庭を身近な存在と認識する機会として、地域住民を対象に養育家庭の生の声を聴く養育家庭体験発表会を開催。

開催日：令和4年11月19日(土)

場 所：国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ

内 容：養育家庭制度について、里親里子の体験発表

参加者：28人

(10) 子ども家庭支援センター運営協議会

子ども家庭支援センターの運営その他必要な事項を協議するために設置。

委員構成：学識経験者2名、主任児童委員（又は民生児童委員）1名、立川児童相談所職員1名、市内の子どもに関する団体の関係者1名、小学校児童の保護者1名、中学校生徒の保護者1名、幼稚園及び保育所の園児の保護者1名、子育て中の市民2名、計10名

任期（第10期）：令和4年4月1日～令和6年3月31日

第10期の会議開催実績：第1回 令和4年6月30日

第2回 令和4年11月9日

第3回 令和5年2月2日

(11) 地域子育て支援拠点事業（委託先：NPO法人くにたち農園の会「つちのこひろば」）

市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的に実施する事業。

<事業運営>

- ①事業名 つちのこひろば
- ②委託先 特定非営利活動法人くにたち農園の会
- ③実施場所 国立市谷保5119（やぼろじ内）
- ④実施日時 毎週火・水・金・土曜日 午前10時00分～午後3時00分

<親子の居場所事業>

- ①令和4年度実施日数 200日
- ②令和4年度延べ利用者数 5,027人

<子育て相談事業>

(件)

相談の種別	件数
子どもの発達不安について	21
離乳食や食事について	8
保育園等の対応について	5
子どもへの接し方、子どもとの遊び方について	4
その他	18
合計	56

<子育て情報収集・提供事業>

- ①市内外の子育て支援団体や子どもの居場所活動、男女平等参画に関わる市民活動等の配布物を収集し、施設内にコーナーを設け、利用者へ紹介。
- ②毎月のカレンダーを発行し、市内公共施設や市民活動団体、近隣のカフェや商店等へ配布。
- ③FacebookとInstagramを連動させ、ひろばのスケジュールや告知情報・活動報告を投稿。

<活動支援・体験型事業>

①定期開催の企画

開催曜日	企画内容	実施回数 (回)	参加人数 (人)
水曜日	ちえさんのわらべうた (わらべうた)	6	88
	さーやんの遊びの時間 (表現)	12	192
	まほさんのおとさんぼ (音楽遊び)	11	156
	まいちゃんの絵本のじかん (読み聞かせ)	6	86
金曜日	やまちゃんの出張かぜのへや (おもちゃひろば)	11	169
	はたけんぼであそぼう (自然あそび)	6	123
土曜日	離乳幼児食講座	11	116
	心とからだにふれるじかん	4	55
	電車あそびのじかん	10	89
	わらくらさんがやってくる! (わらべうた)	12	128
	ふたご・みつごタイム (多胎家庭のためのじかん)	6	21
合計		95	1,223

②不定期開催または特別企画

企画内容	実施回数 (回)	参加人数 (人)
歯育て講座	2	31
工作の時間	2	47
編み部 (ママ部活)	8	53
臨床心理士のいるじかん	4	30
どうぞの日 (無料バザー)	2	164
畑びより (土にふれる時間)	4	33
防災の会	4	22
わらべうた絵本ライブ	1	34
地域おさんぼ企画	2	28
合計	29	442

<出張ひろば事業>

開催曜日	企画内容	実施回数 (回)	参加人数 (人)
火曜日 (一部金曜日)	城山で遊ぼう!	51	1,925
第三金曜日	おでかけひろば@南市民プラザ	6	12
合計		57	1,937

<その他事業>

開催日	事業名	参加人数
6月10日、9月6日、11月1日、12月9日	絵本シアター (絵本を題材にした演劇)	208人

(12) その他

<赤ちゃん・ふらっと整備事業>

「赤ちゃん・ふらっと」とは、小さなお子さんを連れた方が安心してお出かけができるよう整備された、授乳やおむつ替え等ができるスペースの愛称。

公共施設	民間事業所	
<ul style="list-style-type: none"> ・市役所 ・公民館 ・くにたち中央図書館 ・中央児童館 ・西児童館 ・くにたち未来共創拠点矢川プラス 	<ul style="list-style-type: none"> ・nonowa国立EAST（北） ・国立ミュージカルスタジオun-even（東） ・足もみKMR（東） ・かふえ カサムシカ（中） ・くにたち夢ファームJikka（西） ・つちのこや（谷保） ・千丑茶屋（谷保） 	<ul style="list-style-type: none"> ・たまりば^{そら}宙（富士見台） ・石電（富士見台） ・生長の家神の国寮（富士見台） ・ライフタイム国立デイサービスセンター（富士見台） ・やほ駅前鍼灸整骨院（富士見台）

（令和5年7月20日現在）

<3人乗り自転車リサイクルインフォメーション事業>

一般家庭で不用になった幼児2人同乗用自転車を利用したい市民に対して市があっせんする事業。

令和4年度あっせん台数：0台

<幼児同乗用自転車貸出事業>

平成27年度に東京国立白うめロータリークラブより寄贈された幼児同乗用自転車を子育て世帯に貸し出す事業。

令和4年度は5台の返却があり、申し込みがあった7名の市民の中から抽選で5名の市民へ貸し出した。

貸出自転車数：8台（幼児1人同乗用4台、幼児2人同乗用4台）

<子育て用品リサイクル・リンク事業>

子育て環境の充実を図ることを目的に、家庭で着られなくなった子ども服を提供してもらい、必要な方へ無償で提供する事業。令和4年度は日々の提供のほか、6月30日及び10月20日に「青空リサイクル」、12月7日～10日に「リサイクルミニフェア」を子ども家庭支援センターで開催。

令和4年度延利用人数：670名

実施場所：矢川プラス・中央児童館・西児童館・つちのこひろば ※令和5年4月1日現在

<子育て応援寄附付き自動販売機の設置>

市と包括連携協定を締結している西都ヤクルト販売株式会社の協力により、売り上げの一部を子育て応援寄附として市の子育て支援事業に活用させていただく自動販売機をセンター敷地内に設置。

令和4年度寄附金額

(円)

月	寄附金額	月	寄附金額
4月	4,382	10月	3,749
5月	3,567	11月	3,477
6月	3,945	12月	2,863
7月	6,318	1月	2,335
8月	4,143	2月	2,690
9月	5,419	3月	4,832

合計 47,720円